

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: エコ活動上益城協議会(上益城地域振興局内)

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																								
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17								
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		・エコ活動上益城協議会員は、全員が熊本県から委嘱された熊本県地域温暖化防止活動推進員で構成されており、活動目的については推進員の委嘱式の際、熊本県から発表され、共有している。(推進員=会員)									8	9										17					
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・上益城郡内推進員は、熊本県地球温暖化防止活動推進員の規定を遵守し、エコ活動上益城協議会会員として活動している。																				16					
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・ボランティア活動のため、営利目的での販売競争等は行わない。																					16				
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・エコ活動上益城協議会員は、全員が熊本県から委嘱された熊本県地域温暖化防止活動推進員で構成されている。 ・上益城各町から推薦を受けており、各町で掲げるエコ活動や環境保全のフェアに参加したり、各推進員自身の家庭でゴミの減量や地産地消を心がけ、エコ活動を推進している。 ・また、熊本県の推進員としても勉強会に参加するなど協力して活動している。																					16				
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・地球温暖化防止活動に関する研修会への参加や勉強会をしている。知的財産に関する知識や理解に関してグリーンカーテン推進活動を通し、勉強会を開いている。									8.2	9											16				
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		エコ活動上益城協議会の会員名簿は各委員が保管しており、保管に際しては、施錠できる場所で厳重に保管をしている。																					16				
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・協議会の活動として、住民の声を大事にし、町担当とコミュニケーションを図り町と連携し活動している。																					16	17			
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・上益城郡各町とフェア等を通じて連携し、CO2削減としてリサイクル推進、生ごみの堆肥化などの活動を広げ、環境保全に貢献している。					5					8		10		12	13	14	15	16	17						
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●													9					11		13.1				16	17		
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●												8	9												17		
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●							1	2					5			8				12	13	14	15	16	17		
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制を整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・協議会に所属する会員は年代、性別が異なるため、各個人を尊重し、意見を出し合い、差別しない体制及び運営を行っている。				4.3	5.1				8.5												16.1	16.2	16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・会員同士での勉強会を行い、互いの情報交換等行なう中で心理的安全性に向けた活動を実施している。			3						8.8																
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・会員同士公正な立場で、ボランティア活動をしている。					5.5				8.5											10.2	10.3				
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・会員それぞれが職場や労働時間が違うため、それぞれの実情に合わせて地域活動等を行っている。			3		5.5				8.5													10.3			
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・令和6年3月まで熊本県と委託を受けた地球温暖化防止センターが開催する推進員向けの勉強会に参加する。令和5年11月、令和6年2月に実施予定。				4	5.5				8	9															
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・各種活動に参加する場合、お互いの体調管理を推進員同士で声を掛け合い、体調に無理のない範囲で活動するようにしている。			3						8														17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・会員は、男性1名、女性3名で構成され、今までの知識や経験を活かし、お互いを尊重する立場で話し合いながら活動している。				4.4	5.1	5.5			8.5														10.2	10.3	16.7
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●						3						8	9.1							11	12						
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●												8	9.1														
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●							3	4				8	9														

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名： エコ活動上益城協議会(上益城地域振興局内)

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・ごみ等の廃棄物は、各町の分別指標に基づき適正に処理している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・太陽光・太陽熱エネルギーを利用している。EV・HV車も利用。エネルギー使用量は、専用の機器を使用し把握している。							7.3						13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・家庭の温室効果ガスの排出量を把握し、排出量の抑制に取り組んでいる。 ・電気、ガスの無駄遣いをやめる。 ・太陽光システムを導入し、自家発電を行っている。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・廃プラやレジ袋の削減に取り組んでいる。 ・廃油石鹸やEM菌など水環境への取り組みを行う。【予定】廃油石鹸は令和6年3月までに協議会で手作りする。						6.6									14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・生ごみの堆肥化、不要な食材は買わないなど、家庭ごみ削減に取り組んでいる。 ・地域の資源物改修で、ペットボトルや空き缶などリサイクルできるものは適正にリサイクルしている。									9.4				12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・節水(シャワー使用時間の削減、雨水をためて庭木の水まきに使用等)に取り組んでいる。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5				14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・環境に配慮した製品(廃油石鹸、EM菌団子)の手作りやリサイクル製品の購入を行っている。									9.4			12.4 12.5	13	14	15					
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・家庭での食品ロス(エコ調理:野菜の皮や種を材料として使用)に取り組んでいる。	1	2					6.4							12.3		14	15			17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・各会員の自宅にてグリーンカーテンの実施や上益城郡内の町の環境フェア等に参加し、その取り組みを広め、地域の緑化事業に貢献している。												11.6 11.7		13.1 13.3		15			17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		・太陽光発電システムや蓄電池の設置し、再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6			9.4			11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・プラスチック使用製品の使用を避け、紙製を利用している。また、上益城郡内の各町の分別基準に従い、リサイクルを推進している。													12.2 12.5		14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●												9.4		11.2		13.1 13.3						
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.6 11.a	12.8	13					17.17		

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名： エコ活動上益城協議会(上益城地域振興局内)

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・廃食油石鹸にEM菌を使う環境等環境へ配慮したモノづくりをしている。			3.9						9			12.4							
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・活動する前にレジュメを作成し、高齢の方や障がい者等誰もが分かりやすく理解できるように取り組んでいる。									9.1	10	11.7							17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●				2.3 2.4				7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15			17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1			15			
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・上益城郡内の各町で廃油を集めている地域(例：嘉島町)では、住民と一緒に、その地域の推進員が集めた廃油をその町へ提供している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●				2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15			17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・上益城郡山都町では生ごみの堆肥化を推進しており、生ごみ堆肥機械を実際に導入し、実施している。甲佐町では環境フェアが予定されており、毎年グリーンカーテンコンテストの審査員を務め、実際に各町の推進員は自宅でグリーンカーテンを実施している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・地域で行う避難行動や防災行事にその地域の住民と一緒に推進員が参加し活動している。				4							11.5		13.1				16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●			1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17	
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1						
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●						4				8.6		10.2							17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●						4.4				8.5 8.6									17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●				2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17	

25 25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。